

—学校教育目標—

豊かな心を持ち

自ら学ぶたくましい子

(1)よく考えねばり強く学ぶ子

(2)心豊かで思いやりのある子

(3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第33号

H30年11月28日(水)

那覇市立

仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

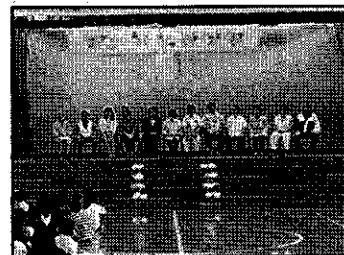
TEL 917-3330

仲井真っ子

ありがとうっばい!!

私たちは毎日、当たり前のようにおいしい食事をいただき、楽しく遊んだり、学んだりしています。この幸せは誰が与えてくれているのか普段はあまり考えたりしません。

2学期は行事や勤労感謝の日など、様々なところで感謝の気持ちを伝える場面があります。本日28日(水)1校時、体育館にて「ありがとう集会」が行われました。お世話になっている方々を花のアーチで出迎えて、1年生から6年生まで、関わりのある方々へ手作りの感謝状と花束の贈呈をしました。感謝の言葉を計画委員の「川畑結花(かわばた ゆいか)」さんが述べて、みんなで感謝の心を込めて、「ありがとうの花」を合唱しました。「嘉数来晃(かかずらいき)」さんが、この会へご参加いただいた方へのお礼と終わりの言葉を述べて閉会しました。



ありがとう

谷川俊太郎

空 ありがとう

今日も私の上に来てくれて

曇っていても分かるよ

宇宙へと青くひろがっているのが

花 ありがとう

今日も咲いていてくれて

明日は散ってしまうかもしれない

でも匂いも色ももう私の一部

お母さん ありがとう

私を生んでくれて

口に出すのは照れくさいから

一度っきりしか言わないけれど

でも誰だろう 何だろう

私に私をくれたのは?

限りない世界に向かって私は呟く

私 ありがとう

私は、子どもたちに次のような話をしました。谷川俊太郎さんの詩に「ありがとう」という詩があります。その詩を読むと、たくさんのありがとうの気持ちが伝わってきます。皆さんに紹介します。

私達の生活は必ず誰かの助けに支えられています。見えにくいところの心遣いに気づき、感謝の気持ちを伝えることができれば、みんなが幸せになると思います。「ありがとう」がこだまする仲井真小学校にしていきましょう。1・2年生は、「まわりのみんなにありがとう」、3・4年生は「心を込めてありがとう」、5・6年生は「多くの支えにありがとう」、やってみませんか。

谷川俊太郎さんに、こんな質問をした人がいます。「ありがとう」と声に出すと、言われた方も言った方も気分がよくなります。もっと「ありがとう」と言えるようになるにはどうすればいいのでしょうか。

谷川さんはこうこたえています。「人は、成人して自立するまで時間がかかります。一人では何ひとつ出来ないし、誰も一人では生きていけません。自分が無数の他人に支えられて生きていると思えば、自然に『ありがとう』という言葉がうまれてくると思います」。会が終わって招待者と雑談していると、全校児童を代表して4年1組さんから、校長の私にまで感謝状をいただきました。ありがとうございます。